

令和7年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	技術・家庭科 家庭分野
教科担当	我那覇 美織		
教科書名	新しい技術・家庭 家庭分野		
副 教 材	技術・家庭学習ノート 家庭分野1 沖縄県版		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (技術・家庭 家庭分野) 科の目標と評価について

教 科 目 標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
評 価 観 点	<p>(知識・技能) 家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p> <p>(思考・判断・表現) これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
方 法 評 価	<p>○評価の観点は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の三観点で評価します。</p> <p>○「知識・技能」は、単元テストや実技テスト、作品を評価します。</p> <p>○「思考・判断・表現」は、ノートの記述やレポート、実習等の実践計画書、グループでの話し合いや発表、学習活動の記録をまとめたシートを評価します。</p> <p>○「主体的に学習に取り組む態度」は、ノートの記述や授業中の発言、自己評価シートの内容を評価します。</p> <p>※テストの点数だけでは評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしましょう。</p>

2 (技術・家庭 家庭分野) 科の学習について

進 授 業 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の「めあて」をしっかり聞き、「めあて」を達成するための活動に真剣に取り組む、「めあて」が達成できたか、今日の「まとめ」「振り返り」を行いましょ。 ・授業の準備物など忘れ物をしない。(実習で使うエプロン・三角巾も含む) ・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょ。 ・先生の指示や友達の発言をしっかり聞きましょ。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようしましょ。 ・学習の記録(ノート等)は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょ。
テ ス ト	<p>○単元テストとミニテストを行います。</p> <p>○単元テストとミニテストの範囲は、授業で扱った事項および試験前に指定した範囲から出題します。</p> <p>○1週間前までには提示します。</p>

3 年間指導計画（その①）

10月	単元名(題材名)	1 編 1 章 家庭分野のガイダンス		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。 		学習内容に関心を持ち、これからの学習に取りくもうとしている。	
	評価方法	ノート		ノート、ワークシート、振り返り、行動観察	
	評価時期及び評価場面	10月		10月	
10月	単元名(題材名)	1 編 2 章 私たちの家族と家庭生活		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。 		中学生としての自分や家族の生活に関心を持ち、家族の一員として生活をよりよくしようとしている。	
	評価方法	ノート、ワークシート、行動観察		ノート、ワークシート、振り返り、行動観察	
	評価時期及び評価場面	テスト 10月		10月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

11月	単元名(題材名)	6編1章 家族・家庭生活での自立		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。	家族関係をよりよくしていく方法を考えることができる。	家族との関わりや、これからの自分の生活に関心を持ち、実践しようとしている。	
	評価方法	ノート、ワークシート、行動観察	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	ノート、ワークシート、振り返り、行動観察	
	評価時期及び評価場面	11月	11月	11月	
11月	単元名(題材名)	2編1章 食事の役割と中学生の栄養の特徴		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・健康に良い食習慣について理解している。 ・栄養素の種類と働きについて理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。	・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。	・自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	
	評価方法	ノート、ワークシート、行動観察	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	ノート、ワークシート、振り返り、行動観察	
	評価時期及び評価場面	テスト 11月	11月	11月	
12月	単元名(題材名)	2編2章 中学生に必要な栄養素を満たす食事		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・食品の栄養的特質について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。 ・1日分の献立作成の方法について理解している。	・1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい食生活の実現に向けて、1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。	
	評価方法	ノート、ワークシート、行動観察	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	ノート、ワークシート、振り返り、行動観察	
評価時期及び評価場面	12月	12月	12月		

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

12月	単元名(題材名)	2編4章 日常食の調理と地域の食文化		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	<p>・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。</p> <p>・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。</p>	<p>・日常の1食分の調理について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p>	<p>・よりよい食生活の実現に向けて、日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	
	評価方法	ノート、ワークシート、行動観察	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	ノート、ワークシート、振り返り、行動観察	
	評価時期及び評価場面	1月	1月	1月	
1月	単元名(題材名)	3編1章 衣服の選択と手入れ		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	<p>・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ(補修)について理解しているとともに、適切にできる。</p> <p>・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ(洗濯と保管)について理解しているとともに、適切にできる。</p>	<p>・材料や状態に応じた日常着の手入れ(洗濯と保管)について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p>	<p>・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ(補修)について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・よりよい衣生活の実現に向けて、材料や状態に応じた日常着の手入れ(洗濯と保管)について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	
	評価方法	ノート、ワークシート、行動観察	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	ノート、ワークシート、振り返り、行動観察	
	評価時期及び評価場面	2月	2月	2月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その④）

2~3月	単元名(題材名)	3編2章 生活を豊かにするために		指導時数	8
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい衣生活の実現に向けて、資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。	
	評価方法	作品、行動観察、自己評価表、計画表、ワークシート	計画表、ワークシート、行動観察	ノート、ワークシート、振り返り、行動観察	
	評価時期及び評価場面	実習 3月	3月	3月	

令和7年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	技術・家庭科 家庭分野
教科担当	我那覇 美織		
教科書名	新しい技術・家庭 家庭分野		
副 教 材	技術・家庭学習ノート 家庭分野2 沖縄県版		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることにに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (技術・家庭 家庭分野) 科の目標と評価について

教科の目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
評価の観点	<p>(知識・技能) 家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p> <p>(思考・判断・表現) これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
評価方法	<p>○評価の観点は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の三観点で評価します。</p> <p>○「知識・技能」は、定期テストや実技テスト、作品を評価します。</p> <p>○「思考・判断・表現」は、レポートや実習等の実践計画書、グループでの話し合いや発表、学習活動の記録をまとめたシートを評価します。</p> <p>○「主体的に学習に取り組む態度」は、ノートの記述や授業中の発言、自己評価シートの内容を評価します。</p> <p>※定期テストの点数だけでは評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしましょう。</p>

2 (技術・家庭 家庭分野) 科の学習について

進授業方の	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の「めあて」をしっかりと聞き、「めあて」を達成するための活動に真剣に取り組む、「めあて」が達成できたか、今日の「まとめ」「振り返り」を行いましょ。 ・授業の準備物など忘れ物をしない。(実習で使うエプロン・三角巾も含む) ・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・学習の記録(ノート等)は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
テスト	<p>○単元テストとミニテストを行います。</p> <p>○単元テストとミニテストの範囲は、授業で扱った事項および試験前に指定した範囲から出題します。</p> <p>○1週間前までには提示します。</p>

3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	6編2章 幼児の生活と家族		指導時数	8
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼い頃を振り返り、周囲の人との関わり大切さについて気づいている。 ・幼児の発達の特徴(身体の発育や運動機能)について理解している。 ・幼児の発達の特徴(言語、認知、情緒、社会性)について理解している。 ・幼児の生活の特徴(1日の生活)について理解している。 ・幼児の生活の特徴(生活習慣)について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ・幼児との関わり方について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫している。 ・幼児との関わり方について、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、幼児との関わり方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、子どもが育つ環境としての家族の役割について工夫し創造し、実践しようとしている。 	
	評価方法	ノート、ワークシート、テスト、行動観察	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	ノート、ワークシート、振り返り、行動観察	
	評価時期及び評価場面	4月	4月	4月	
5月	単元名(題材名)	6編3章 持続可能な家庭・地域生活		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		<ul style="list-style-type: none"> ・家族の互いの立場や役割について理解している。(知) ・家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族関係をよりよくする方法について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察し 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族関係をよりよくする方法について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善 	

	概ね満足な姿 (B規準)	・高齢者など地域の人々と協働する必要があることや、介護など高齢者との関わり方について理解している。	たことを論理的に表現している。(思) ・高齢者との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・幼児との関わり方についての課題を解決するために、前時までに学習した基礎的・基本的な知識を活用し、よりよい関わり方を考え、工夫することができる。	したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・幼児を観察したり、遊んだりするなどの直接的な体験などを通して、計画通りに実践できたかどうかなどを振り返って評価し、改善方法について考えることができる。	
	評価方法	ノート、ワークシート、テスト、行動観察	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	ノート、ワークシート、振り返り、行動観察	
	評価時期及び評価場面	5月	5月	5月	
6月	単元名(題材名)	5編1章 私たちの消費生活		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿 (B規準)	・売買契約の仕組みについて理解している。(知) ・購入方法や支払い方法の特徴を理解している。 ・計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み(三者間契約)について理解している。 ・消費者被害の背景とその対応について理解している。	物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について、問題を見いだして課題を設定している。	・計画的な金銭管理の必要性について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	
	評価方法	ノート、ワークシート、テスト、行動観察	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	ノート、ワークシート、振り返り、行動観察	
	評価時期及び評価場面	6月	6月	6月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

7月	単元名(題材名)	5編2章 責任ある消費者になるために		指導時数	7
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解している。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物資・サービスの選択・購入について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・自立した消費者としての責任ある消費行動について考え、工夫している。 ・自立した消費者としての責任ある消費行動(環境に配慮した生活)について考え、工夫している。 ・持続可能な消費生活を目標として、課題とその解決方法について考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい消費生活の実現に向けて、物資・サービスの選択・購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自立した消費者としての責任ある消費行動について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・自立した消費者としての責任ある消費行動(環境に配慮した生活)について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 	
	評価方法	ノート、ワークシート、テスト、行動観察	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	ノート、ワークシート、振り返り、行動観察	
	評価時期及び評価場面	7月	7月	7月	
9月	単元名(題材名)	2編3章 調理のための食品の選択と購入		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と関連づけ、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ・日常生活と関連づけ、用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ・日常生活と関連づけ、用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の選択について、問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい食生活の実現に向けて、食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。 	
	評価方法	ノート、ワークシート、テスト、行動観察	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	ノート、ワークシート、振り返り、行動観察	
	評価時期及び評価場面	9月	9月	9月	
9~10月	単元名(題材名)	2編4章 日常食の調理と地域の食文化		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	

概ね満足な姿 (B規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい食生活の実現に向けて、日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい食生活の実現に向けて、和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。
評価方法	ノート、ワークシート、テスト、行動観察	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	ノート、ワークシート、振り返り、行動観察
評価時期及び評価場面	10月	10月	10月

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和7年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	技術・家庭科 家庭分野
教科担当	我那覇 美織		
教科書名	新しい技術・家庭 家庭分野		
副教材	技術・家庭学習ノート 家庭分野3 沖縄県版		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (技術・家庭 家庭分野) 科の目標と評価について

教科の目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
評価の観点	<p>(知識・技能) 家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p> <p>(思考・判断・表現) これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
評価方法	<p>○評価の観点は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の三観点で評価します。</p> <p>○「知識・技能」は、定期テストや実技テスト、作品を評価します。</p> <p>○「思考・判断・表現」は、レポートや実習等の実践計画書、グループでの話し合いや発表、学習活動の記録をまとめたシートを評価します。</p> <p>○「主体的に学習に取り組む態度」は、ノートの記述や授業中の発言、自己評価シートの内容を評価します。</p> <p>※定期テストの点数だけでは評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしましょう。</p>

2 (技術・家庭 家庭分野) 科の学習について

進授業方の	<ul style="list-style-type: none"> 今日の「めあて」をしっかり聞き、「めあて」を達成するための活動に真剣に取り組む、「めあて」が達成できたか、今日の「まとめ」「振り返り」を行おう。 授業の準備物など忘れ物をしない。(実習で使うエプロン・三角巾も含む) 学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しよう。 先生の指示や友達の発言をしっかり聞きましよう。 目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしよう。 学習の記録(ノート等)は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましよう。
テスト期	<ul style="list-style-type: none"> ○単元テストとミニテストを行います。 ○単元テストとミニテストの範囲は、授業で扱った事項および試験前に指定した範囲から出題します。 ○1週間前までには提示します。

3 年間指導計画（その①）

単元名(題材名)	教科ガイダンス		指導時数	0.5
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
概ね満足な姿(B規準)	衣生活と住生活について、人を取り巻く環境として捉え、これからの学習に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。			
評価方法				
評価時期及び評価場面				
単元名(題材名)	〔3編〕 私たちの衣生活		指導時数	9
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
概ね満足な姿(B規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた着用について、考えようとしている。 ・衣服の社会生活上の働きや目的に応じた着用について理解している。 ・日本の伝統的な衣文化について知り、和服と洋服の特徴や違いについて理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性を理解している。 ・既製服を購入するポイントを理解している。 ・縫い方・用具の安全な取り扱い方がわかる。 ・衣服や小物の製作ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさを表現することに関心を持ち、着方について考え、工夫している。 ・既製服選びの情報を収集し、整理できる。 ・目的に応じた既製服の選択について考え、工夫している。 ・生活を豊かにする方法を考え、工夫している。 	布を用いた物の製作に関心を持って取り組んでいる。	
評価方法	ノート、ワークシート、テスト、行動観察	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	
評価時期及び評価場面				
単元名(題材名)	〔4編〕 私たちの住生活		指導時数	5
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
概ね満足な姿(B規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活行為と住空間の関係について理解している。 ・日本の各地の住まいとその特徴について理解している。 ・健康で心地よく住むための室内環境の条件を理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内事故の防止について、高齢者や幼児などの視点から、家庭で実践できる方法を考え、工夫している。 ・自然災害への備えについて家庭で実践できる方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいに関心を持ち、住まいの役割について考えようとしている。 ・家族が安全に住むために、家庭内事故について考えようとしている。 ・これまでの学習を生かし、 	

	している。 ・音が生活に及ぼす影響について理解している。 ・災害に備えた住まい方について理解している。	を考え、工夫している。	持続可能な住生活を目指して課題とその解決方法について考え工夫している
評価方法	ノート、ワークシート、テスト、行動観察	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り	ノート、ワークシート、行動観察、振り返り
評価時期及び評価場面			

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合があります。

3 年間指導計画（その②）

単元名(題材名)	〔2編〕 私たちの食生活		指導時数	3
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
概ね満足な姿(B規準)	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理と材料に適した加熱調理の仕方について理解している。	・調理計画から実践までを評価し、課題を改善しようとしている。	・調理計画から実践までを評価し、課題を改善しようとしている。	
評価方法	ワークシート、行動観察	ワークシート、行動観察、振り返り	ワークシート、行動観察、振り返り	
評価時期及び評価場面				
単元名(題材名)			指導時数	
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
概ね満足な姿(B規準)				
評価方法				
評価時期及び評価場面				
単元名(題材名)			指導時数	
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
概ね満足な姿(B規準)				
評価方法				
評価時期及び評価場面				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合があります。